

# ～どのようにひきこもりを捉えるか～ ひきこもりの理解と支援のあり方

ひきこもりや不登校は、ライフステージや主訴により、関わる機関は、教育・就労・生活困窮支援・市町村保健福祉等多岐に渡り、つながりある支援が求められます。

支援の難しさの一つは、社会から距離を置かざるを得ない当事者との関係性の再構築です。

当事者の心理・背景の理解を深めながら、『ひきこもりが誰にとって、何が問題で、何を解決するのか・・・』今問われているひきこもり支援のあり方を一緒に考える研修会を開催します。

【日時】 令和6年2月29日(木) 午後1:30～3:45

【場所】 岐阜県障がい者総合相談センター 3階大会議室  
(岐阜市鷺山向井1583-6 電話 058-231-9724)

【内容】 (1) 講演「ひきこもりの理解と支援」  
(2) 事例検討  
鶴舞こころのクリニック院長 渡邊 貴博 氏

【対象者】 ひきこもり支援に携わる行政、教育、高齢・障害・地域福祉、  
民間支援団体の支援者等

【定員】 60名

【申込み】 申込みフォームより入力

【申込期限】 令和6年2月22日(木)

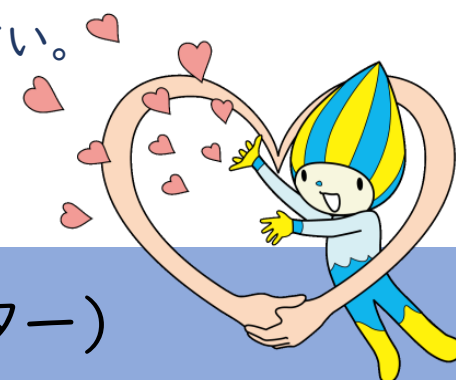
フォームURL (インターネット) <https://logofom.jp/form/T8mB/408275>

(LGWAN) <https://tb.logofom.st-japan.asp.lgwan.jp/form/T8mB/408275>

申込QRコード



※受講者から事例検討ケースを募集しています。希望される方は当センターへご連絡ください。



【問合せ先】 岐阜県精神保健福祉センター(ひきこもり地域支援センター)

電話058-231-9724 c22606@pref.gifu.lg.jp 担当/村上・安田

## 講師紹介

精神保健指定医／日本精神神経学会専門医・指導医／日本医師会認定産業医

2001年 岐阜大学医学部卒業。その後、埼玉県、東京都などの精神科病院勤務

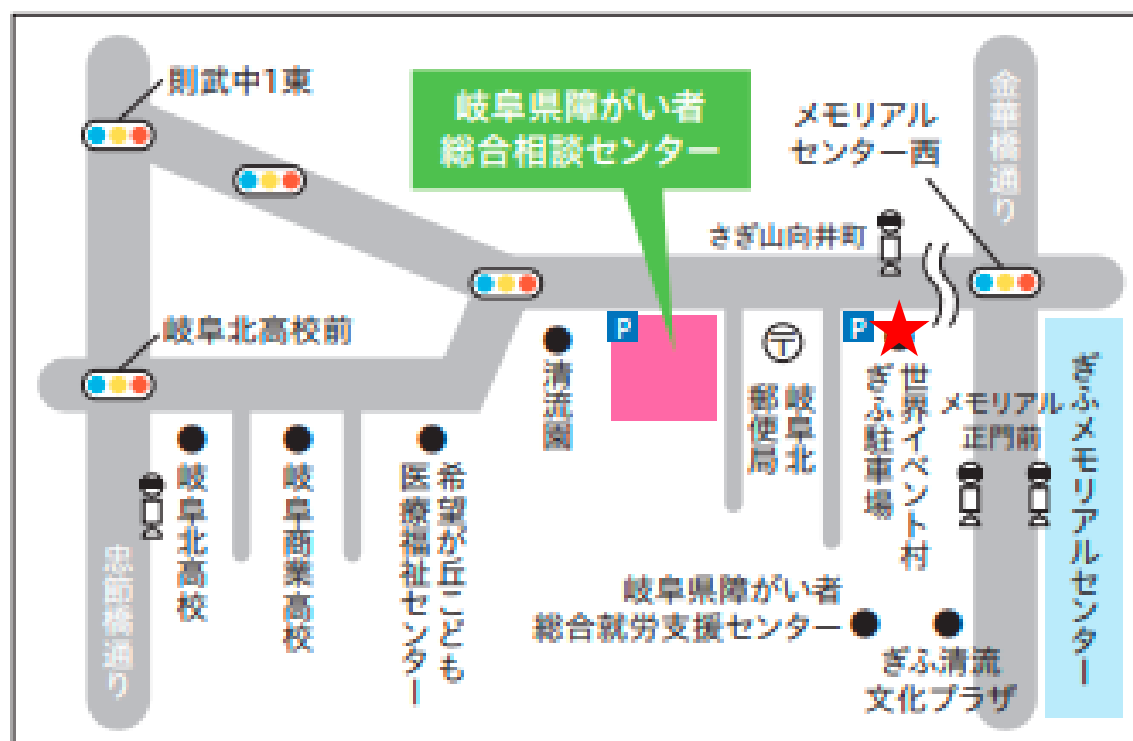
2009年 みどり病院(岐阜)で精神科を立ち上げる。

2019年6月 鶴舞こころのクリニック院長となる。

長年、ひきこもりや、路上生活者をはじめとする生活困窮に至る障害を抱えた人々、様々な困難を抱え、支援の手から遠ざかっている方々の診療や治療、支援を可能な限り届けている。

## 駐車場のお願い

- ★【世界イベント村ぎふ駐車場】をご利用下さい。駐車場から当センターまで徒歩で約3分です。障がい者総合相談センターの駐車可能台数が限られており、県民の来所予約者を優先しております。みなさまのご協力をお願いいたします。



【世界イベント村ぎふ駐車場料金】

3時間まで100円 以後30分毎に100円加算

## 受講される方へお願い

【注意点】

- ・研修会の撮影、録音、録画等は禁止します。
- ・資料は講師の著作物のため、他者への転送や無断転載、複製は禁じます。